

令和元年度 第19回「まちづくり会議」概要 石川地区

日 時：令和元年9月29日（日） 14：00～15：30

場 所：石川公民館

参加団体等：振興協議会、長生会、壮年会、青年団、安全協会石川支部、石川商工会、社会福祉協議会、西南地区民生児童委員協議会、防犯協会石川支部、体育協会、北消防団石柏分団、自衛消防連合会、子ども見守り隊、石川小 PTA、子ども会連絡協議会、傾聴ボランティア聴蝶、松任土地改良区石川地区、市農業委員（石川地区）、JA 松任、手取川七ヶ用土地改良区、公民館長、白山市町会連合会副会長など

発言【1】

防災行政無線について

【市】

防災行政無線の戸別受信機の配置につきましては、令和2年1月～令和3年1月までの約1年で、説明会の開催と無料配布を予定しています。

各家庭でご使用のあさがおテレビの音声告知放送端末機につきましては、当初に無料で設置し、平成26年度に更新され、以後は継続利用を希望された町内会において新しい端末で利用料を負担してご利用いただいています。しかしながら、その端末もメーカーによる製造が終了したため、現在、新規加入ができない状況となっており、今後は防災行政無線の戸別受信機配布により順次運用を終了する予定です。

また、現在ご利用の屋外拡声子局は、地区によっては定時放送を吹鳴していませんが、戸別受信機の整備が終了し市内全域が同一条件となる令和3年4月以降は、朝7時、昼12時、夕方(夏場18時 冬場17時)に市内統一の定時放送を実施します。

発言【2】

福留地内の高木の伐採と地下道の壁の修繕について

【市】

県道松任・寺井線（福留町859、116付近）の高木については、市より県に伐採の要望をしております。

また、国が管轄する敷地内の高木や地下道の壁につきましても、国に要望をしております。

発言【3】

防災パトロールに使用する公用車の配置について

【市】

地域の安全、安心のため防犯ボランティアの皆様にご協力をいただき、感謝申し上げます。

現在、白山野々市防犯協会（事務局：白山警察署内）では、青色回転灯を付けた防犯パトロール車が1台あり、防犯協会の会員で、青色回転灯を装備して行うパトロール実施者の講習を受けられた方には車を貸し出しています。しかしながら、地域安全の看板と青色回転灯を付けた市の公用車につきましては、保険の関係等もあり、防犯協会員であっても貸し出しは行っていません。

防犯協会の皆さんが青色ランプを取り付けて走行する際には、警察の講習等が必要です。また、防犯協会の役員個人の車を利用していることから、車が変わった時などは登録しなおす必要があり、市といたしましても負担となっていることは認識しており、今後、防犯パトロールが負担とならないような方法について、他の自治体等を参考にして警察と協議してまいります。

発言【4】

災害用の発電機等の設置について

【市】

災害時に備え発電機を準備しておくことは有効だと考えています。電気自動車1台で一般家庭の4日分の電気が使えるということで、長期停電に備え、来年度電気自動車の購入を検討しています。

災害用発電機の市単独での整備は、数量も多く困難であるため、国、県、他自治体と連携し、万が一の際は、借用できる様な体制が構築できないか協議してまいりたいと考えています。

また、ソーラーシステムにつきましては、平成28年3月に策定された第3次白山市環境基本計画においても、補助制度を活用した再生可能エネルギーの導入を推進しており、今後は、災害に強い地域づくりの観点からも、太陽光パネルや蓄電池などについて、研究してまいりたいと考えています。

発言【5】

防災用品（ブルーシートや砂袋等）のストックについて

【市】

現在、ブルーシートや毛布、防災用トイレ等の防災備蓄品につきましては、すべての二次避難施設に配置しており、食料や飲料水等については、大型スーパー等13の企業と支援物資支援協定を締結し、万が一に備えています。

また、大規模災害時には市の要請が無くても、国から食料や飲料水、衣料、毛布、仮設トイレ等、生活に必要な物資が提供される体制となっており、迅速に対応してまいります。

発言【6】

①オリンピック聖火リレーコースの要望について

②高齢者運転免許証自主返納後の支援について

【市】

①オリンピックの聖火リレーは、6月1日と2日の両日にかけて県内19のすべての市町を巡回する予定であり、白山市のコースは市役所をスタートし松任文化会館ピーノがゴール地点となっています。詳細なルートとランナーの氏名は、オリンピック石川県実行委員会より先月発表されました。

②高齢者運転免許証自主返納の支援につきましては、免許証返納時の一回のみとしています。75歳以上の方は、免許返納に関わらず、「めぐーる」の運賃を無料としています。多くの方にご利用いただくために、無料期間を設けて乗車体験もおこなっていますので、ぜひ一度乗車していただきたいと思っております。

また、市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めています。免許証を返納されたお年寄りの交通手段について地域で話し合い、福祉施設の車の送迎時間以外の空き時間を活用する方法など公共交通空白地の運送事業を実施することについても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つとして考えています。

シニアカーにつきましては、道路交通法では歩行者扱いとなっており、歩行や移動に支障のある障害者においては、補装具費として車いす・電動車いす・歩行杖が助成の対象となっています。

発言【7】

消防団員の成り手不足について

【市】

分団員の成り手不足につきましては、市としても十分認識しています。

市では、団員不足の解消に向け、機能別消防団という制度を検討してまいります。

団員に欠員が生じた場合は、これまでどおり、各町内会から推薦していただきたいと考えています。

発言【8】

小中学校向け認知症サポーターについて

【市】

認知症サポーター養成講座は、白山市が策定している「ふるさと安心高齢者プラン」の中でも重点施策として位置づけており、さらに、認知症サポーターのより実践的な活動につながるためのスキルアップ講座につきましては、事例検討会や話し合いの場を設け、またやろうという意識づけができるように取り組んでまいります。

また、修了の証しとしての、サポーターリングについても検討してまいります。

発言【9】

白山検定のPRについて

【市】

今年の第2回において、書店へ直接伺い、リーフレットのカウンター設置並びに参考書の設置依頼を実施いたしました。その他、新聞広告及び新聞広報への掲載並びにあさがおテレビニュース、えふえむエヌワン・MROラジオ出演による広報の実施や、商工会議所等市内4経済団体へはリーフレットの配布及びPR説明を実施いたしました。

今年度は、幅広く受験者を募集するため初心者向けの「入門コース」を新設し、今までどおりの「通常コース」の2コースを実施します。多くの方に受験していただきたいと思っています。

発言【10】

①市道に設置されているポールと反射鏡について

②上水道事業の進捗状況について

【市】

視線誘導標（ポール）につきましては、道路整備時ほか、パトロールや要望により予算の範囲内で修繕、整備を行っています。反射鏡（カーブミラー）につきましては、昨年度、新規で2本設置し、12本程度を修繕しています。費用につきましては、ポールを含め1本15万円程です。

また、大雪時に、両面あった反射鏡の片面が破損して片面の状態となっている箇

所につきましては、片面での対応が可能と考えており、歩道もありますので、徐行にて安全を確認のうえ車両を進めていただきたいと思います。

②松任地域では、現在は、上水道と簡易水道の利用が半々となっており、一部の簡易水道が上水道への切り替えを進めています。簡易水道は地域の財産なので、皆さんの合意のもと、上水道に加入するということになれば、その施設を利用し上水道に切り替えていくことになります。

市では、今後も上水道化に向けて管線路を延伸してまいりたいと考えています。

なお、上水道化に伴う上水道料金につきましては、県内11市の中では最も安く、全国812自治体の中でも37番目と、全国でも低い水道料金でご利用いただけます。

発言【11】

①公民館の改築、用地確保、融雪装置について

②企業実習生の防災対策について

【市】

①公民館の整備につきましては、昭和56年以前建設の旧耐震基準の公民館の改築を優先して行っています。その目途が立った後に、昭和57年以降建設の公民館の整備等を検討して行くこととしており、石川公民館は昭和58年に建設され、市内28公民館のうち7番目に古く、築35年が経過しています。

今年度は、建設年次の最も古い湊公民館の建設に着手しており、今後、古い順に整備を行っていくこととしていますが、市の財政状況や市全体の均衡を図りながら整備を進めていきたいと考えています。

また、融雪装置の設置につきましては、改築時に検討することにしたと考えています。市では、現在、地下水を利用した融雪装置の新設は地下の環境の保全のため見送っていますが、川水等の代替え水源を利用した融雪を、今年度試験的に実施する予定です。

②今年度、災害に備え避難情報、防災気象情報のチラシを、英語、中国語、ベトナム語の3か国語で作成しましたので、それを皆さんにお配りしたいと思います。

防災行政無線戸別受信機は、希望があった方には配布させていただきます。また、民間企業も、配布の対象としていますが、屋外アンテナの設置が必要な場合で、一般家庭以上の費用負担を要する場合は、その分だけ負担をお願いすることになります。